

Chapter  
03

# 出会いと結婚の本音トーク

統計データからは分からない、出会いや結婚についての考えを20代の男女に直撃。気になるその本音に迫ります。

―昔と今、男女の出会いが変わってきたといわれていますが。

**日高さん** 昔は、年頃になったら本人が結婚を考えていたとしても、お見合いをしたというをよく聞きます。今は友達の紹介で出会うのが圧倒的に多いように思います。

**今野さん** そうですね。やはり友達を介して出会うことが一番多いように思います。もし急にお見合いをしろと言われても、わたしだったら困るかも。昔と考え方が少し変わってきているのだと思います。―自身の結婚についてどう考えていますか。

**今野さん** 35歳くらいまでには結婚したいかな。やりたいたいこともあるので、しばらくは一

人がいいです。

**日高さん** わたしもやりたいことがいっぱいあって、30歳くらいがいいかなと思ってます。でも最近、周りが結婚ラッシュなので、ちょっと焦っています。良い出会いがあればすぐにでも結婚しますよ。

**今野さん** そうかもしれませんね。確かに同年代の人たちは良い出会いがあれば結婚したいと思うかも。ただ、出会いの場って、案外少ないですよ。

**日高さん** それが一番の問題ですよ。朝から夜遅くまで働いているので、ほぼ職場と家とを往復の毎日です。出会う機会が本当に少ないんですよ。

―2人は結婚活動、いわゆる

婚活をしていますか。

**日高さん** わたしはジムなどに行って自分磨きをしています。あとは、飲み会などに積極的に参加していますね。いろいろな人とお話ができて楽しいですよ。

**今野さん** わたしも飲み会には積極的に参加しています。広い意味で捉えると、これも婚活の一つなのかな。6月に行われた前コンに参加したときは、婚活のために来ていた人

も大勢いましたし、いろいろな人に出会えて楽しかったですね。こういったイベントが今後増えれば、出会う機会も増えるのではないのでしょうか。

**日高さん** 確かにそうですね。これからは出会いを探しに行くことが大切だと思います。ちょっと恥ずかしいかもしれませんが、最初の一步を踏み出せば、案外すぐに理想の相手と出会うかもしれないですね。

## Interview 前コンを出会いの場に

前コン実行委員会代表  
齋藤 陽一さん



大勢の人と出会い、触れ合うことでいろいろな経験を積むことは、恋愛や人生にとって大切なことだと思います。しかし、最近はその出会いの場が減っています。婚活をはじめ、何事も人との出会いがなければ始まりません。

前コンは出会いの場の創出とまちなかの活性化につながってほしいと思って企画しました。第1回前コンの経験を生かし、今後も規模を拡大して開催していきますので、参加者の皆さんにはいろいろな出会いを楽しんでもらいたいと思っています。前コンを通して出会った人たちが将来、「結婚しました」なんて報告してくれるとうれしいですね。

## 取材を終えて

未来と一緒に歩むパートナーと確かめ合う絆。それが結婚です。そして結婚には「何でも頑張れる」気持ちにさせてくれる力があるのではないのでしょうか。東日本大震災以後、絆を求めて結婚する人が増加した。そんな話を耳にします。

現在、社会問題の一つに少子化があります。少子化は経済的負担やライフスタイルなどと深く関わりがあり、今回特集した「結婚」も、そのうちのひとつだと考えられています。

近年、個人の選択が尊重される社会になり、結婚する、しないは個人の判断に任せられるようになりまし。これは同時に、晩婚化・未婚化という現象を引き起こすようになりました。この特集を通して、ぜひもう一度、皆さんに結婚について考えてみてほしいと思います。

Chapter  
04

# 人生を長い目で見通した それぞれの選択を

## Interview

群馬大社会情報学部  
堀 正 教授

専門分野は人間行動論、コミュニケーション論。コーチング心理学の立場に立って、さまざまな視点からゼミ生たちと人間関係について議論している。



結婚はじっくり考えて

結婚は家と家とを結びつけるものという考え方から、個人のものという考え方に変わってきました。人生における自らの選択肢の一つとして結婚があり、する、しないも個人の自由として考えられるよ

うになりました。

自由に結婚できるようになったことで、相手を選ぶとき、容姿、性格、経済力など、相手に求める条件が多くなっています。心理学の立場から言えば、一人一人の性格は一致していないのが当たり前です。その中でお互いが歩み寄れる合意点を見つけていくことが、男性にも女性にも求められます。

また、相手の心は分からないので、相手を長い時間よく観察して確かなイメージを作り上げてから結婚に至るのが理想です。じっくり考えて、現実の中でそうした人が見つかったと判断したときに結婚を決めれば良いと思います。

しっかりとした人生設計を

結婚は個人の自由ですが、それに伴う責任も個人が負わ

なければなりません。日本人の寿命がますます延びたことで結婚生活も長くなることから、結婚後のライフスタイルを長い目で見通すべきです。いつ結婚して、いつ子どもをつくるか、将来の人生設計をどう描くかなどを前もって計画することが大切です。

また、子どもは子どもの役割、結婚後は夫婦としての役割、子どもができれば親としての役割を果たすように、家族の中、あるいは教育の場で教えられてくるものですが、子どもができて夫婦のまま、もつとと言うと恋愛時代のままの気持ちで親になってしまうケースも少なくありません。

夫婦関係も含めて、良い人間関係を築いていくためには、人生のそれぞれの発達段階に応じた役割を身に付けていくことが必要です。